

## 平成 28 年度ダイオキシン類環境調査結果について (大気・公共用水域水質及び底質・地下水質・土壌)

### 1. 調査概要

市は、環境大気 2 地点、公共用水域の水質及び底質各 6 地点、地下水質 2 地点、土壌 3 地点についてダイオキシン類環境調査を実施しています。その結果全ての調査地点において環境基準を満たしていました。

### 2. 調査内容

#### (1) 調査時期

##### (ア) 大気

調査回	調査時期
第 1 回目	平成 28 年 6 月 21 日～平成 28 年 6 月 27 日
第 2 回目	平成 28 年 8 月 23 日～平成 28 年 8 月 29 日
第 3 回目	平成 28 年 10 月 18 日～平成 28 年 10 月 24 日
第 4 回目	平成 28 年 12 月 20 日～平成 28 年 12 月 26 日

##### (イ) 水質、底質及び土壌

調査区分		調査時期
公共用水域水質及び底質	河川	平成 28 年 9 月 15 日
	海域	平成 28 年 8 月 4 日
地下水質		平成 28 年 7 月 6 日
土 壌		平成 28 年 10 月 19 日

#### (2) 調査地点

##### (ア) 大気

調査区分	調査地点数	調査回数	合計調査回数
大気	2 地点	各 4 回	8 回

##### (イ) 水質、底質及び土壌

調査区分		調査地点数	調査地点数小計
公共用水域 (水質及び底質)	水質	河川	5 地点
		海域	1 地点
	底質	河川	5 地点
		海域	1 地点
地下水質		2 地点	2 地点
土 壌	一般環境	1 地点	3 地点
	発生源周辺	2 地点	
調査地点数合計		17 地点	

#### (3) 調査対象物質

##### ダイオキシン類

ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン (PCDD)  
 ポリ塩化ジベンゾフラン (PCDF)  
 コプラナーポリ塩化ビフェニル (コプラナー-PCB)

#### (4) 測定分析方法

##### (ア) 大気

ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル  
 (環境省水・大気環境局総務課ダイオキシン対策室大気環境課)

##### (イ) 公共用水域の水質及び地下水質

工業用水・工場排水中のダイオキシン類の測定方法 (JIS K 0312)

##### (ウ) 公共用水域の底質

ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル  
 (環境省水・大気環境局水環境課)

##### (エ) 土壌

ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアル  
 (環境省水・大気環境局土壌環境課)

### 3. 調査結果

#### (1) 大気

No.	調査地点名	ダイオキシン類 (pg-TEQ/m <sup>3</sup> )				
		調査時期				年間平均
		6月	8月	10月	12月	
1	堤小学校	0.0083	0.0051	0.0053	0.011	0.0074
2	青森市文化財資料等収蔵庫	0.018	0.017	0.016	0.016	0.017
環境基準 (年間平均値)						0.6

#### (2) 公共用水域・水質

No.	調査地点		ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)		
			水質	環境基準	
1	河川	新城川	戸建沢橋	0.050	1
2			新井田橋	0.31	
3		大袋川	下流	0.054	
4		沖館川	西滝川滝内橋	0.047	
5		野内川	滝沢橋	0.042	
6	海域	青森港西 (木材港)		0.046	

#### (3) 公共用水域・底質

No.	調査地点		ダイオキシン類 (pg-TEQ/g)		
			底質	環境基準	
1	河川	新城川	戸建沢橋	0.11	150
2			新井田橋	1.1	
3		大袋川	下流	0.39	
4		沖館川	西滝川滝内橋	0.81	
5		野内川	滝沢橋	0.10	
6	海域	青森港西 (木材港)		3.7	

#### (4) 地下水質

No.	調査地点所在地	ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)	
		地下水質	環境基準
1	東大野 1 丁目	0.043	1
2	原別 6 丁目	0.043	

#### (5) 土壌

No.	調査地点所在地		ダイオキシン類 (pg-TEQ/g)	
			土壌	環境基準
1	一般環境	青森市立造道小学校	0.21	1,000
2	発生源周辺	築木館ポンプ所	1.2	
3		青森県立つくしが丘病院	0.94	

注 1) 等価係数(TEF)は、WHO-TEF(2006)を換算係数として用いて、毒性等量(TEQ)に換算して表示。

注 2) ダイオキシン類は、PCDD、PCDF 及びコプラナーPCB の総和。

### 4. 評価

#### (1) 大気

全地点で大気環境基準 (0.6pg-TEQ/m<sup>3</sup>) を満たしていました。

#### (2) 公共用水域の水質及び底質

全地点で水質環境基準 (1 pg-TEQ/L) 及び底質環境基準 (150 pg-TEQ/g) を満たしていました。

#### (3) 地下水質

全地点で地下水質環境基準 (1 pg-TEQ/L) を満たしていました。

#### (4) 土壌

全地点で土壌環境基準 (1,000 pg-TEQ/g) を満たしていました。

### 5. 今後の対応

平成 29 年度も引き続き市内の環境モニタリング調査を実施し、汚染の状況を把握していきます。